



平成29年9月25日

「World Health Summit in Hiroshima 2017」を開催します

広島大学病院の未来型グローバル医療人育成センターは、10月7日（土）、「World Health Summit in Hiroshima 2017」を開催します。日本や米国をはじめ、シンガポール、ベトナムなどアジア各国の医療関係者が集い、各国の医療の現状と今後の課題を探ります。

第1回目となる今回は、ハーバード大学より Ichiro Kawachi 先生、シンガポール総合病院より Lee Kheng Hock 先生 をお招きし、社会資本の医療への投入や諸外国における在宅医療の実状を紹介していただきます。さらに、広島大学病院の教職員や在籍留学生、学生も参加して、各国の医療を取り巻く問題や取り組みに関する討論を通じて国際交流を目指します。

【日 時】平成29年10月7日（土）13:00-17:00

【会 場】広島大学病院 臨床管理棟 3階大会議室

【対象者】医師、歯科医師、研修医、コメディカル、本学学生、教職員等

【プログラム概要】

■基調講演（使用言語：英語（通訳なし））

Dr. Ichiro Kawachi（ハーバード大学）

Dr. Lee Kheng Hock（シンガポール総合病院）

■セッション（使用言語：英語、日本語）

パネリスト Dr. Vo Kim Cat Tuyen（ベトナム）

Dr. Lima Afroza Akther（バングラデシュ）

Dr. Dewi Poerwandari（インドネシア）

Dr. Masahiro Ohira（日本）

Dr. Takanori Taogoshi（日本）

Ms. Miki Kawanami（日本）

高齢化は世界各国の大きな課題です。新たな高齢者医療の在り方が問われている中、広島大学は「未来型グローバル医療人育成センター」を、平成29年1月に立ち上げました。その目的は次の通りです。

- 1.高度先進医療に対応可能な診療施設として充実・強化する
- 2.地域の各拠点病院との連携を図る中心的医療機関としての機能を果たす
- 3.次世代医療を担える人材を輩出する
- 4.先端的で特色ある研究を推進する
- 5.質の高い医療提供体制を構築する

この取り組みは、広島大学病院が持つ高度先進医療と地域医療連携「広島・尾道モデル」を統合的に活用できる社会の実現を目指しています。その実現のために、先進医療と地域医療の両者に精通する新たなタイプの医療人を育成します。日本はもとより欧米先進諸国およびアジア諸国の高齢化へも適応できる、未来型地域医療（在宅医療と高度先進医療の融合）を目指すグローバルプランです。

＊地域医療連携「広島・尾道モデル」

広島県の尾道地域では、ICTを活用した地域内の医療・介護情報の共有化の推進や在宅診療、服薬指導などの充実によって、全国的にも特色ある地域包括ケアの取り組みを実践しています。発展的な地域医療連携モデルとして、その実証と効果を全国に発信し、「高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるための地域社会」の確立を目指しています。

【お問い合わせ先】

未来型グローバル医療人育成センター センター長 田妻 進 Tel：082-257-5461 FAX：082-257-5461 E-mail：miraigata@hiroshima-u.ac.jp



HIROSHIMA UNIVERSITY



WORLD HEALTH SUMMIT IN HIROSHIMA 2017

Oct. 7th (Sat) 13:00-17:00

 **Hiroshima University Hospital**

Main conference room

Keynote lectures



Hiroshima



Dr. Ichiro Kawachi

Professor of Social Epidemiology,
Chair Department of Social and
Behavioral Sciences,
Harvard School of Public Health



Dr. Lee Kheng Hock

Associate professor of Family
Medicine and Continuing Care,
Singapore General Hospital

President, College of Family
Physicians Singapore



Panelists



Dr. Vo Kim Cat Tuyen



Dr. Lima Afroza Akther



Dr. Dewi Poerwandari



Dr. Masahiro Ohira



Dr. Takanori Taogoshi



Ms. Miki Kawanami

Center for the Education of Futuristic Global Medical Professionals

✉ miraigata@hiroshima-u.ac.jp

WORLD HEALTH SUMMIT IN HIROSHIMA 2017

平成**29**年 **10**月**7**日（土） **13:00～17:00**

会場

広島大学病院

臨床管理棟3階 大会議室

基調講演



Dr. Ichiro Kawachi

Professor of Social Epidemiology,
Chair Department of Social and
Behavioral Sciences,
Harvard School of Public Health



Dr. Lee Kheng Hock

Associate professor of Family
Medicine and Continuing Care,
Singapore General Hospital

President, College of Family
Physicians Singapore



Panelists



Dr. Vo Kim Cat Tuyen



Dr. Lima Afroza Akther



Dr. Dewi Poerwandari



Dr. Masahiro Ohira



Dr. Takanori Taogoshi



Ms. Miki Kawanami



問い合わせ先：未来型グローバル医療人育成センター

✉ miraigata@hiroshima-u.ac.jp

広島大学関連医療施設ネットワーク構築とその活用による未来型グローバル医療人育成

【目的】世界的に進む社会の高齢化は未来志向の地域医療連携システムを求めている。本取組は①広島大学病院が推進する先端医療と、②日本の地域包括ケアシステムの礎である先進的地域医療システム(広島・尾道モデル)を融合させて、③国内外にトランスレーショナルリサーチの地域医療での実践(From Bench to regional medicine)を推進する**未来型グローバル医療人**を広島大学関連医療施設ネットワークで育成する。対極的な**先進医療と地域医療**の融合をWorld health summitから情報発信して**広島大学ブランド力**を高める。

【必要性・重要性】高齢化はグローバルな課題である。医学研究・医療の進歩は目覚ましく、その活用による新たな高齢者医療の提案は社会的ニーズである。地域医療連携「広島・尾道モデル」と広島大学病院の高度先進医療の統合的活用を目指し世界的視野に立つグローバル医療人育成とその実践的機能による未来型地域医療の提案である。広島大学・広島尾道モデルのブランド力強化が若手医療人の地域回帰につながる。



【期待される効果】技術革新が急速に進む医療を優れた在宅医療システムを活用して地域医療の中で実践的に活用する社会を目指す本取組は先進医療と地域医療の両者に精通する新たなタイプの医療人を育成するもので、我が国はもとより欧米先進諸国およびアジア諸国の高齢化へも適応する未来型地域医療(在宅医療と高度先進医療の融合)を提供するグローバルプランである。広島大学病院のブランド力を高め、我が国をリードしてきた先進的地域医療システムのブランド力を国際化して認知度を高め、若手医療人の地域回帰のモデルとなることが期待される。